



Amappo



皆様の「快適な暮らし」のヒントに すまい造りメール

第267号 2024年6月号

SINCE 2002.4.1.

発行日令和6年5月31日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

♪My little hometown「追浜駅前交差点」



龍が握っている玉は、思いや願いが叶う神聖な玉（如意宝珠）と言われています。感謝の気持ちを忘れずに自分なりのドラゴンボールを探しに行きましょう。

♪つかもうぜ! DRAGONBALL



追浜駅前の交差点の改良計画がだんだんと動き始めています。国道16号線の横須賀側が2車線で右折レーンがないため、片側夏島方面への右折車両が滞留し、直進車両も影響を受けています。この慢性的に起きている渋滞を解消するため、国道16号線の夏島方面への右折レーンを新設する計画です。

お店を閉めたり、立ち退いたりする国道16号線沿線の商店が増えてきました。昔からなじみのお店や店主さん、看板娘さんたちに会えなくなるのは残念ですが、計画が進められているようです。

追浜の街の様相がだんだんと変わり始めています。



駅前イメージ（国土交通省・横須賀市）

ローカルニュース 地域情報

このたびの「令和6年能登半島地震」で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、一日も早い終息、復興をお祈り申し上げます。

◆横須賀市では、毎月第1～第4日曜日の午前9時～12時に地域の資源回収に出せなかったゴミを回収場所に直接持ち込むことができる**サンデーサイクル**を開催しています。回収品目は8品目（新聞紙・雑誌類・段ボール・紙パック・その他の紙・古着・古布類・缶以外の金属・蛍光管類）で、回収場所は以下の4カ所です。

▼毎月第1日曜日（1月はなし）…横須賀市資源回収協同組合久里浜事業所（内川2-4-30）

▼毎月第2日曜日…リサイクルプラザ「アィクル」（浦郷町5-2931）

▼毎月第3日曜日…日の出事務所（日の出町2-10）

▼毎月第4日曜日…西浄化センター駐車場（長坂2-2-2）

※尚、第5日曜日は実施していません。また、集団資源回収と同様に、一般家庭から排出されたものに限りません。



8月6日(火) 13:00開演 入場券1,000円
みんなで楽しむコンサート2024
横須賀市文化会館大ホール

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. **Next100**

4月から7月にかけて浴室などで羽アリの群れ（群飛）を見かけたら、シロアリが住みついている可能性があります。ヤマトシロアリやイエシロアリなど多くのシロアリは日当たりや風通しが悪く湿気が多いところでなければ生息できないため、床下の風通しを良くしてじめじめさせないことがシロアリの被害を食い止める第一歩となります。床や壁が急に傷み始めたら要注意です。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

昭和46年から新築工事やリフォーム工事、住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいを紹介させていただきます。

本来2階の桁があるところにはわずかに木片が残っているだけで、柱が浮いているのが見えます。サッシの締まりが多少悪く、また、何年か前に羽蟻を見かけたそうですが、まったく気づかなかったそうです。桁の補強をしました。

「被害がこれほどとはびっくりしました」というご感想をいただきました。



「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォーア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



朝テレビをつけると画面には神戸のまちが炎と煙に覆われていました。報道によると兵庫県南部にマグニチュード7.3、最大震度7の大地震が発生したとのことでした。これは1995年(平成7年)1月17日に発生した阪神淡路大震災です。こうした大規模な災害では該当する地方公共団体だけでは対応が不可能と考えられました。直ぐに、N消防局長(当時)に電話して神戸市への応援に行けるよう指示すると、既に国の消防庁からの指示を待っているとのことでした。朝食もとらずに出勤すると、N消防局長から連絡が入り消防庁からの要請で救援隊を派遣したとのことでした。現地からの工作車による救援要請で、倒壊した瓦礫の中からの人命救助を期待しているとのことでした。三浦半島の中で工作車を所有していない市、町では消防士のみでの応援をしたいので同行をさせてほしいとの要請があり、横須賀市の工作車に同乗して神戸市に向かいました。(その後、他の市町でも工作車を配備しています)一方、神戸市では倒壊家屋などからの人命救助も最優先課題でしたが、地震に伴い発生した火災が拡大して、六甲山方向へと延焼していたので、「炎を六甲山に上らせるな」と必死の消火活動をしていました。そして、神戸市側から消防車による応援がほしいとの要請がありました。そこで直ちに、消防車の部隊を派遣しました。この大震災で被災状況の確認と情報伝達について多くのことを学びました。

そして、次に問題となったのは消火のための消防水利でした。火災の拡大により貯水槽の水が底をつきました。幸い火の勢いも収りつつありました。それもつかの間、神戸市の救援活動も一段落すると、隣接する芦屋市からの応援要請もあり、芦屋市への救援活動を行うことになりました。横須賀市の消防職員も現地で大活躍でした。後日芦屋市の職員の方が見えられ、救援活動について感謝を述べられ、その律儀さになんとも言いようのない感動を覚えました。こうした大災害をどう対応するか、多くのことを学びました。

阪神淡路大震災では、その後の復興支援の為に多くの職員を派遣しました。神戸市には消防だけではなく、医療、水道、下水道、危険建物の判定のチームや社会福祉協議会からも応援職員を派遣しているので、こうした職員の激励と被災地の状況を視察するため、2015年(平成27年)2月8日に現地に向かうことになりました。

沢田市長から海上自衛隊阪神基地隊に感謝と激励の書面を預かったので、高速道路を降り海に向け進路をとり阪神基地隊を訪問しました。基地隊司令室にはK呉地方総監(当時)が入室していて、24時間体制で災害対応の指揮に当たられていました。神戸市では、地震により水道施設に大きな被害を受け全市が断水していました。そこで、海上自衛隊が大阪から自衛艦により一日600トンの飲料水を運搬して各避難所へと供給していたのです。寒い1月の厳冬の海中に隊員は入り仮桟橋を製作しました。この仮桟橋が完成したことにより避難所に飲料水を供給することが出来るようになりました。その後、神戸本港が使用可能になり、水道施設の復旧も進み神戸市の断水も解消することとなりました。(元横須賀市助役 井上吉隆)

よこすか文学館【102】



三浦半島に点在する文学碑や史的記念碑を実見し、作者やその作品の成立事情、碑の現状などについてご紹介します。

<正岡子規句碑(ヴェルニー公園)>
横須賀や 只帆檣の 冬木立

【俳句】



正岡子規(1867~1902)は現在の愛媛県松山市生まれ。松山中学を経て、大学予備門入学(→第一高等中学校)、在学中に夏目漱石と知り合います。ちなみに子規も漱石も慶応3年(1867)生まれですが、その他、尾崎紅葉、幸田露伴、南方熊楠、斎藤緑雨といった傑物(けつぶつ)が誕生した年でもあります。さて、子規は、1890年に帝国大学文科大学哲学科へ入学するも、1892年学年試験に落第したのを機に中途退学。後に俳誌『ホトトギス』を中心に文学活動を行い、俳句、短歌の改革に邁進しました。

碑の句は、第一高等中学校の学生時代の夏期休暇中、友人たちと横須賀を訪れた折の詠句で、横須賀港内停泊中の艦船の帆檣(はんしょう=帆柱のこと)を冬木立に見立てたもの。「冬木立」はもちろん冬の季語で作句の時期とは齟齬(そご)しますが、イメージを重視したのでしょう。

(洗足学園中学高等学校教諭 中島正二)

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2024」A-9歩ZONE版(永久保存版)を(Blog「Oppamap2023」より)ダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索